

具体的な施策

京都舞鶴港の目指す姿の実現に向けて、施策を効率的・効果的に実施するため、実現可能な施策から順次進めて行きます。（短期：3年以内程度、中期：5年程度、長期：10年以上程度）

短期

中期

長期

情報基盤

- ▶再生可能エネルギー施設・設備の積極導入、バイオマス発電所の立地促進
- ▶複合デジタルサイネージ・Wi-Fi環境・スマートライトの整備
- ▶舞鶴エリアのエネルギーマネジメントシステムの整備
- ▶移動手段の確保・インバウンド対応等の港湾内おもてなし機能の充実
- ▶多言語化の推進及び翻訳サービスの導入検討
- ▶旅客専用ふ頭の整備の推進



デジタルサイネージ

- ▶データセンターなど特定需要家の立地促進
- ▶エネルギーとエリア情報の融合
- ▶地域新電力事業の立ち上げ
- ▶港湾情報の一元管理による物流の高度化
- ▶港湾内における自動運転
- ▶フィッシャーマンズワーフなどの賑わい施設の誘致

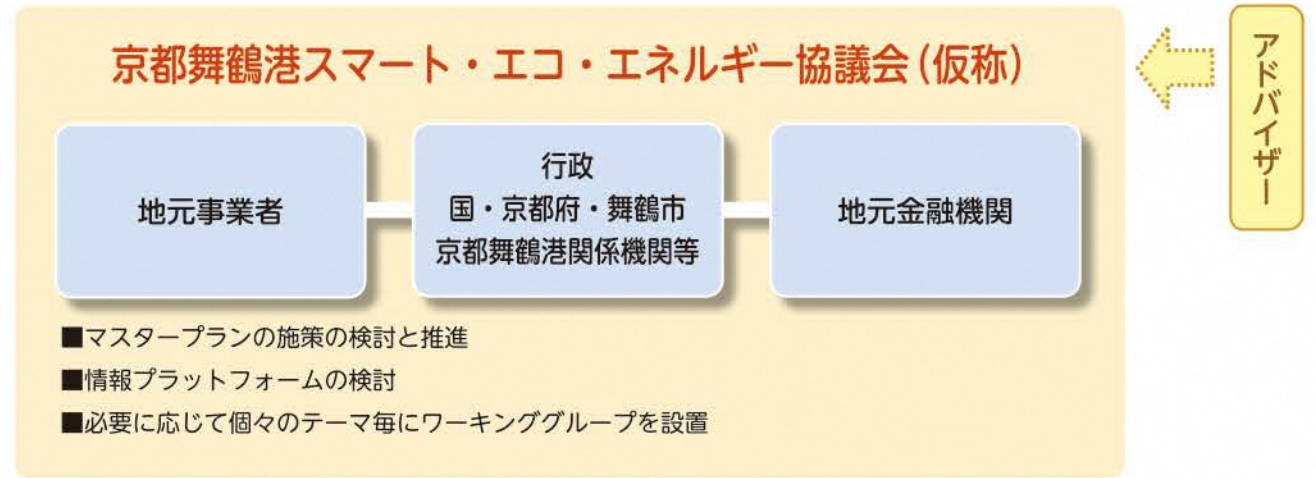


自動走行（提供：輪島商工会議所）

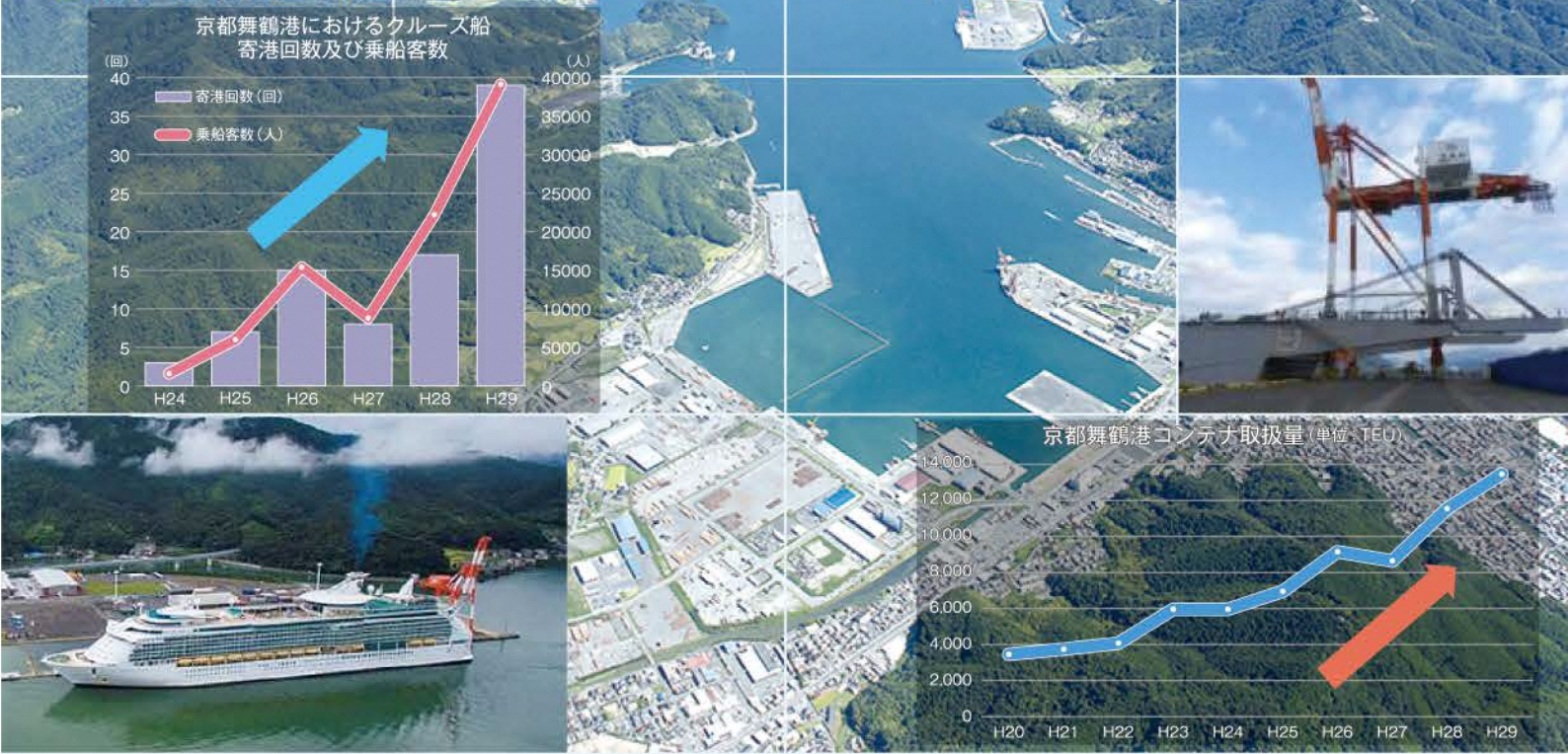
- ▶エリアデータとエネルギーを活用した地域支援の実現
- ▶LNG構想（基地・発電所・パイプライン）の実現
- ▶陸電供給システムや省エネ車両等の受入充実、LNGバンカリングの拠点形成
- ▶港湾施設・周辺の3Dマップ化

- ▶エネルギー、港湾・物流、おもてなしの各分野のデータ情報の閲覧・利用・加工が可能となる情報プラットフォームの構築

推進体制



京都舞鶴港の未来を描く
京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーマスタープラン



京都舞鶴港のポテンシャルと課題

	ポテンシャル	課題
エネルギー分野	・バイオマス発電などエネルギー供給側の計画が充実 ・港湾があるため燃料の調達が容易 ・LNG基地に適した立地条件が揃っており、関西圏という大きな後背地を有する	・更なるエネルギー供給施設の集積 ・再生可能エネルギー利用・熱利用を行う需要家の集積 ・災害対応やセキュリティ管理の充実 ・ガスパイプラインやLNG基地などのエネルギーインフラの整備 ・エネルギー需給の適切な管理
港湾・物流分野	・取扱貨物量の増加傾向が続き、物流拠点港としての役割 ・ふ頭の機能増強や高速道路網の充実などインフラ整備が進展 ・東アジア中心に定期航路が就航	・増加する取扱貨物量に対応できる貨物取扱機能の強化 ・港湾業務の高度化に向けた港湾内オペレーションの機能改善 ・環境負荷低減に向けた取組の強化 ・おもてなし分野の取組との連携・棲み分け ・更なる産業誘致に向けた港湾の魅力創出・ブランド化 ・物流分野の就業環境の改善
おもてなし分野	・クルーズ船寄港回数が増加傾向 ・京都北部地域には府内を代表する観光資源が集積 ・京都北部地域の観光入込客数や外国人宿泊者数も増加傾向	・クルーズ船乗客・観光客等の利便性・快適性の向上 ・増加するインバウンド需要に対するおもてなし ・国際フェリーの直行化 ・京都北部地域への周遊観光への誘客推進 ・周辺地域への宿泊施設の誘致 ・京都舞鶴港の賑わい拠点化 ・先端技術等を活用したおもてなし

京都舞鶴港の目指す姿：東アジアの「スマートエネルギーイノベーションポート」

将来像と施策の方向性

貨物と旅客の分離・両立

港湾・物流分野

再生可能エネルギー利用と情報化による高度な機能

- 施策の方向性
- ▶ 再生可能エネルギー・省エネルギーによる港湾・物流の低炭素化の先進地化（港湾施設への太陽光発電設置、船舶への陸上給電等）
 - ▶ ICTによる港湾・物流施設の高度化（船舶の運航や貨物情報のシステム化等）
 - ▶ 物流環境の変化に対応した施設整備（物流関係者向け施設の整備等）

おもてなし分野

再生可能エネルギー及びICTを活用したグローバルかつ高質なおもてなし

- 施策の方向性
- ▶ 旅客船への高度なおもてなし対応（貨物と旅客の分離等）
 - ▶ ハード・ソフト両面での港湾周辺の魅力の向上（賑わい創出施設の集積等）
 - ▶ 再生可能エネルギー及びICTを活用した京都北部地域の観光拠点機能の充実（観光客の移動手段確保・観光拠点への誘客等）
 - ▶ グローバル化対応の推進（観光情報の多言語化対応等）

時代に即した
エネルギー/IoT環境の提供

エネルギー/IoTを絡めた
先進性の訴求

エネルギー分野

環境負荷の少ない新たなエネルギー拠点

- 施策の方向性
- ▶ 再生可能エネルギーの拠点化（太陽光発電・バイオマス発電の集積等）
 - ▶ 港湾施設と連携したエネルギーの管理（エネルギーの面的利用等）
 - ▶ エネルギーの地産地消の拠点化（地域新電力の創出等）
 - ▶ LNGインフラ整備の推進（広域ガスパイプラインやLNG基地の整備等）

情報基盤

各分野間の連携や相乗効果を支える情報基盤の構築

施策の方向性

- ▶ 各種データ活用の基盤（プラットフォーム）の構築（3分野のデータと情報基盤の一元化等）
- ▶ エネルギー利用の高度化の推進（エネルギー需給制御・デマンドレスポンス等）
- ▶ プラットフォームを支える環境配慮型データセンターなど産業の誘致（再生可能エネルギーや冷熱等の利用・情報基盤を用いた新産業誘致等）